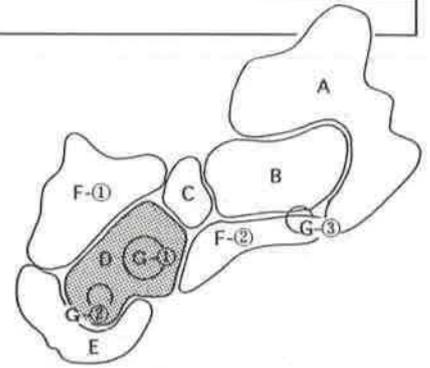


4) Dゾーン

特性



○ゆとりある住宅地をベースにし、本市の核となる中心市街地・勝川駅前地区がロードサイド型のにぎわいのある商業空間によってつながれるゾーン

Dゾーンは、中心市街地・勝川駅前地区の2つの本市の核となる地区が、国道19号沿いに形成されるにぎわいあるロードサイド型の商業空間によってつながれ、これを軸に土地区画整理事業によって形成されたゆとりある住宅地が南北に広がるゾーンです。

景観整備の方向性

都心部を中心に広がる親しみのある住宅地として、低層住宅の統一性のある住宅地景観を守りながら、ゆとりある歩行者空間を形成します。また、ロードサイド型の店舗を生かしながら、にぎわいと散策性のある沿道商業空間の演出を図ります。

○親しみのある快適なまちをつくる。

都心部を中心に広がる親しみのあるまちを形成するため、歩行者が快適に通行できる歩行者空間を形成します。また、ロードサイド型の店舗を生かしながらにぎわいと散策性のある沿道空間を形成します。



瑞穂通

◀国道19号沿道では、にぎわいのある空間を形成する。

内津勝川線では、市民が歩きながら楽しむことのできる商業空間を創出する。



柏井町

○都心部に近い成熟した住宅地の景観を整える。

低層住宅の広がる統一性のある住宅地を守りながら、歩行者空間・住宅地の緑など洗練された住宅地景観を形成します。



松新町

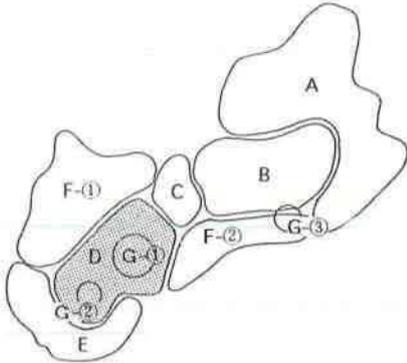
◀地蔵川では、沿川の桜並木を生かした季節感のある景観を形成する。

土地区画整理事業によって形成される住宅地では、緑あふれ、統一性のある住宅地景観を形成する。

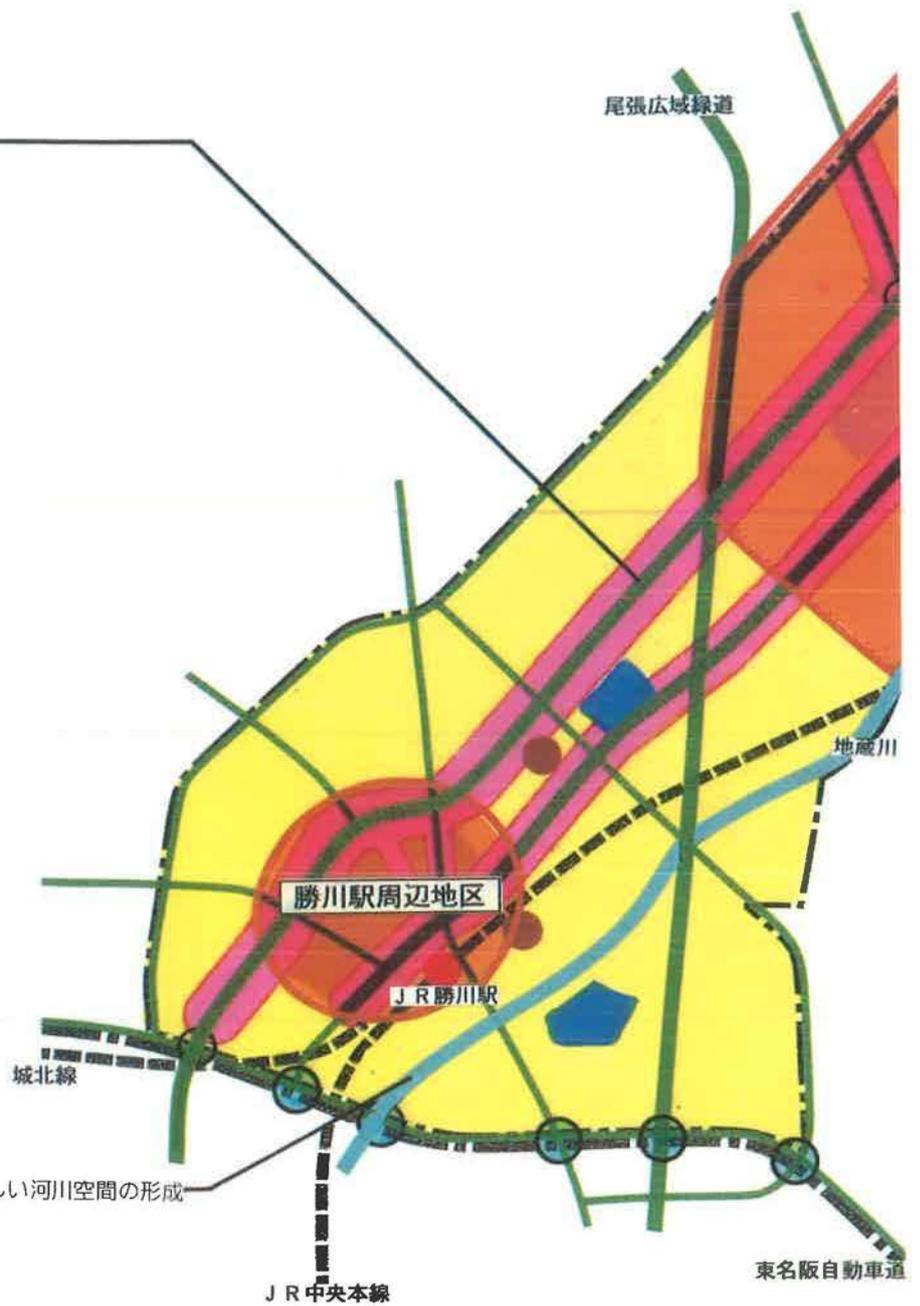


下八田町

Dゾーン景観整備計画図



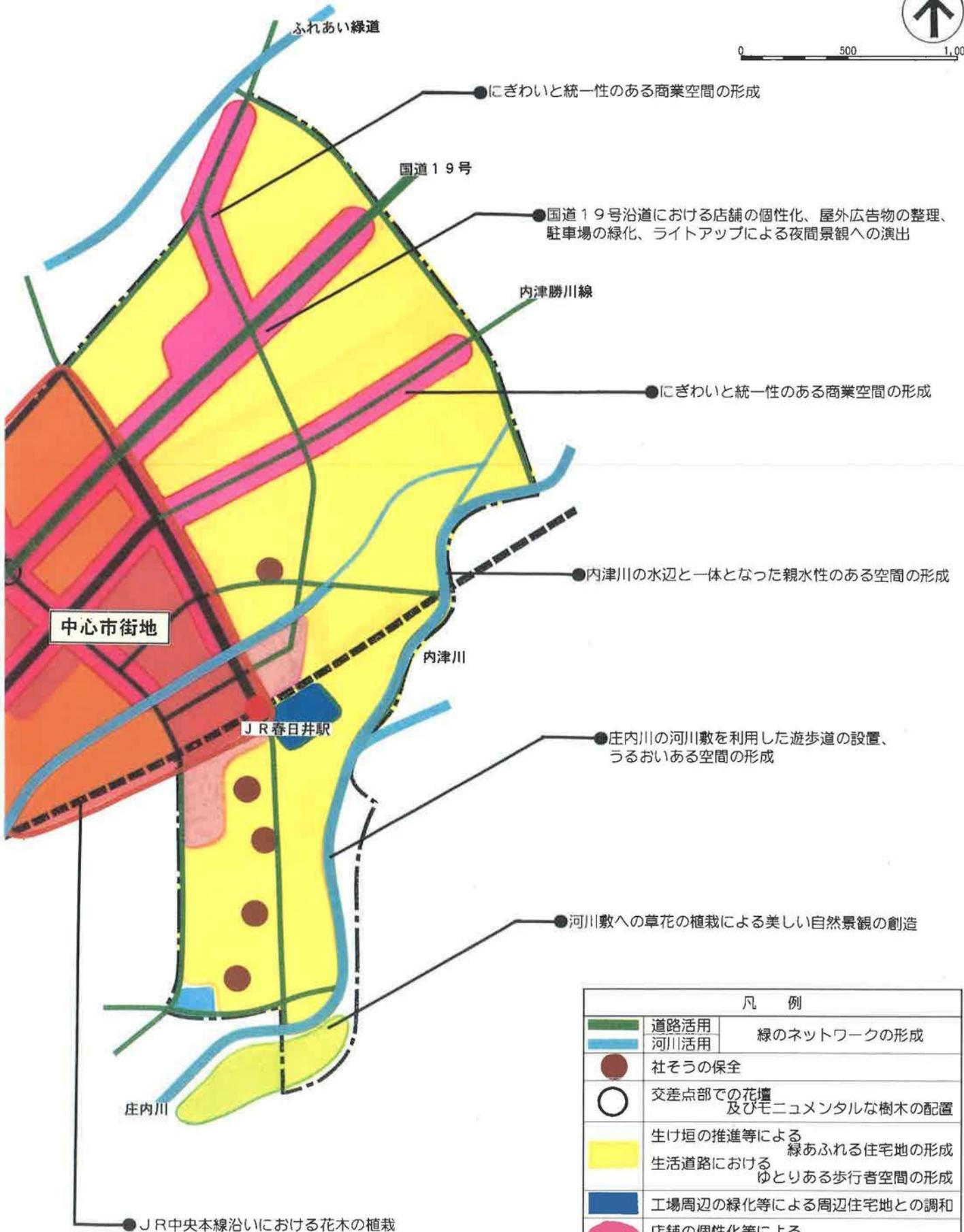
- 国道19号における統一性のある緑化、歩車分離による快適な歩行者空間の形成



- 地蔵川における桜並木を生かした季節感のある美しい河川空間の形成



0 500 1,000



凡 例	
	道路活用
	河川活用
線のネットワークの形成	
	社そらの保全
	交差点部での花壇 及びモニュメンタルな樹木の配置
	生け垣の推進等による 緑あふれる住宅地の形成 生活道路における ゆとりある歩行者空間の形成
	工場周辺の緑化等による周辺住宅地との調和
	店舗の個性化等による 商業地としてのにぎわいの創造
	東名阪自動車道高架部の修景

■地区の概況■

本地区は、国道19号を軸とするロードサイド型店舗が建ち並ぶ地区です。
国道19号は市内外の人々が多く往来し本市のイメージを確立する地区でもあります。

その沿道にはシンボリックなデザインの商業施設も見られ、にぎわいのある空間を形成している反面、巨大化した屋外広告物が乱立することにより道路景観全体としては雑然としたイメージがぬぐえない状況となっています。

■地区の基本的方針■

○軸としての道路景観の創造と

にぎわいのある商業空間を形成する。

個々の店舗のシンボリック化、前面への低木植栽を推進、交差点における高木などアクセントとなる修景などによって、一層のにぎわいを演出します。

また、屋外広告物の設置位置の統一、中央分離帯への中木の植栽により、にぎわいの中にも統一性を演出していきます。

■ 整備事例 ■

- ・主要交差点では、花壇の設置や屋外広告物の整理によって、ポイント性のある空間を形成します。
- ・国道19号では、本市の主要軸として緑化を推進します。

モニュメンタルな植栽により、▶
交差点のポイント性を向上させる。



兵庫県 尼崎市

緑あふれ、統一性のある道路空間▶
を創出する。



東京都 渋谷区



0 500

本市の主要軸への視覚的誘導性の向上

- ・幹線道路における並木の形成
- ・ゆとりある歩行者空間の確保、緑化の推進

統一性のある道路空間の創造

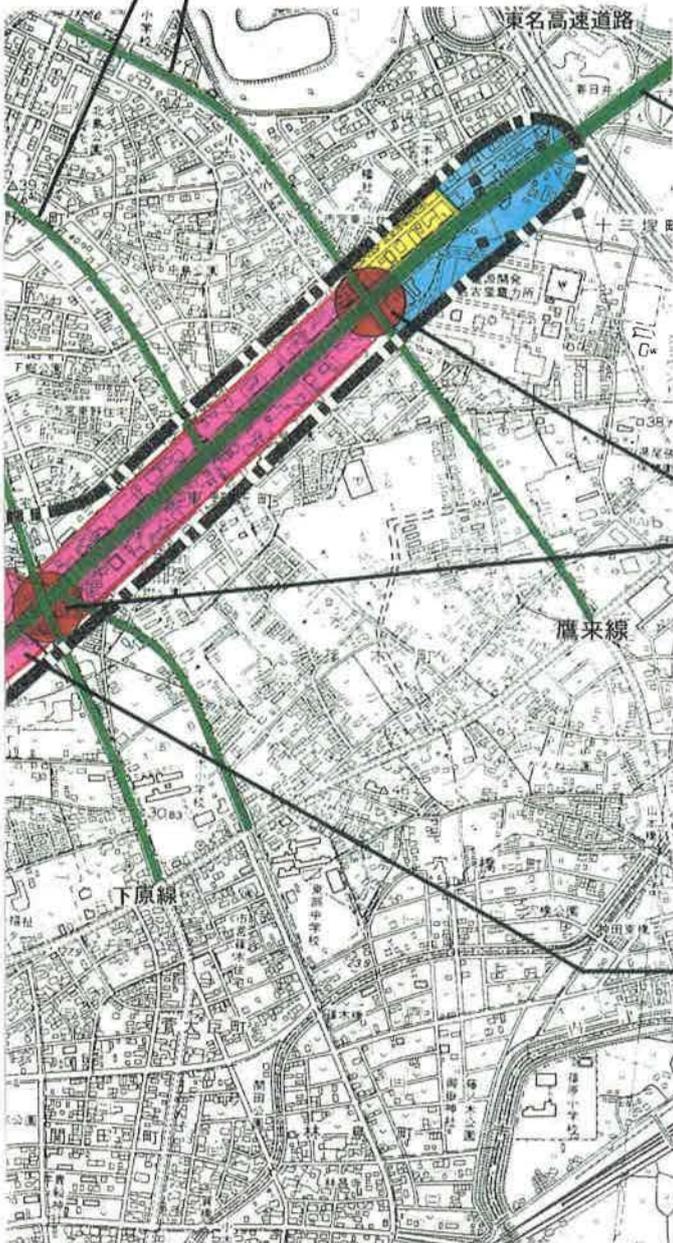
- ・中央分離帯における中低木の連続した植栽
- ・ゆとりある歩行者空間の確保、緑化の推進

国道19号のアクセントの形成

- ・主要交差点におけるアクセントとなる花壇やモニュメント等の設置
- ・交差点における屋外広告物の統合化

にぎわいと統一性のある商業空間の形成

- ・個々の店舗の個性化
- ・屋外広告物の整理
- ・個々の店舗における道路側での低木による植栽、モニュメンタルな樹木の配置
- ・駐車場における緑化



凡例

	道路網	緑のネットワークの形成
		景観に配慮すべき商業系の地区
		景観に配慮すべき工業系の地区
		景観に配慮すべき住居系の地区